



2026 年 10 月 30 日

各 位

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション
代表者 代表取締役社長 水越雅己
(コード番号 8119)
問合せ先責任者 取締役管理本部長兼チーフ・
コンプライアンス・オフィサー
(CCO)兼財務部長 岡崎克則
(TEL 03-3847-3500)

法人税等調整額（益）の計上および 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期） 連結業績予想と実績の差異ならびに通期連結業績予想の修正のお知らせ

当社は、2027 年 3 月期中間連結会計期間（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）において、法人税等調整額（益）を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

また、2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績について、2026 年 5 月 14 日に公表した連結業績予想との差異が下記の通り生じたこと、ならびに、最近の業績動向を踏まえ、2027 年 3 月期通期の連結業績予想につきましても下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 法人税等調整額（益）の計上について

（1）法人税等調整額および繰延税金資産の計上

当社連結子会社㈱ベネクシーは、2026 年 8 月 17 日付で清算終了しました。これを受けて、当社は、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、将来減算一時差異と認識し、繰延税金資産を計上しました。これを主因として、2027 年 3 月期中間連結会計期間において法人税等調整額（益）379 百万円を計上しました。

（2）業績に与える影響

上記の内容は、本日公表の「2027 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

2. 業績予想と実績の差異について [2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)]

・2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異(2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,700	400	400	300	31.56
実績値 (B)	18,348	472	486	685	71.62
増減額 (B－A)	648	72	86	385	
増減率 (%)	3.7	18.1	21.6	128.5	
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (2026 年 3 月期第 2 四半期)	17,655	765	808	456	48.10

・差異の理由

売上高、営業利益および経常利益は概ね当初予想水準の結果となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、2026年8月17日付で当社連結子会社(株)ベネクシーが清算終了したため、当社において繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、将来減算一時差異と認識し、繰延税金資産および法人税等調整額（益）379百万円を計上したことを主因として、当初予想を上回る結果となりました。

3. 業績予想の修正について [2027年3月期通期]

・2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	36,500	1,000	1,000	700	73.64
今回修正予想（B）	36,500	1,000	1,000	900	93.93
増減額（B－A）	0	0	0	200	
増減率（％）	0.0	0.0	0.0	28.6	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	36,332	1,026	1,156	568	59.83

・修正の理由

上半期に引き続き下半期においても、主に家具家庭用品事業セグメントの業績が堅調に推移することが見込まれており、売上高、営業利益および経常利益については、当初予想からの変更はありません。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第2四半期（中間期）に計上した法人税等調整額（益）の影響が下半期も継続することから、当初予想を上回る見込みです。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な要因により実際の業績は異なる結果となることがあります。

以上